

薫風の丘

【教育目標】

心ひとつに明日を拓く
「豊かに・たくましく・支え合って」
けだかき姿 わが誇り

地区総合体育大会まで あと2日

地区の総合体育大会が今週末に開催されます。大会が迫るに従い、校内も総体モードになってきています。13日(月)には全校で応援練習を行いました。久しぶりの応援練習でしたが、応援団のリードの下、「会場には行けないがパワーを送るよ！頑張れ！」の心を込めた応援ができていたと感じました。きっと明日の壮行会でも、選手たちに向けた素晴らしい応援を見せてくれると思います。

職員室前の廊下には、「挑戦」の題字の周りに、選手たちの大会に向けた意気込み、クラスメートの選手たちに向けたエールが書かれたものが掲示されています。言葉は力をもっていると言われます。1人1人の思いが実現することを祈っています。



小中合同避難訓練

冷静・敏速に

6/8(水)鳥海小学校と合同で避難訓練がありました。今回は、「震度4の地震」を想定して行われました。朝方までの雨のため避難場所は体育館となりましたが、どの学年も静かに整然と危機感をもって避難することができました。

中学校体育館で行われた全体会では、消防署の方から次のような講評がありました。



- しっかり指示を聞き、静かに落ち着いて素早く避難できていた。「お(押さない)・は(走らない)・し(喋らない)・も(戻らない)」が守られていた。
- 鳥海地区は土砂崩れ・地滑り等が考えられる。危険箇所や避難所等をハザードマップで確認できる。家族と一緒に確認を。

その後、「不安だったが、避難訓練はよくできた。万一の時には、冷静に今日学んだことを意識して行動したい。」との振り返りが、村上*(3年生)さん、佐藤***(2年生)さん、小沼***(1年生)さんから、ありました。また「休み時間中に地震があった場合どうすればいいか考えたい。」(**さん)と、発展的な発言もありました。

学校でも様々な場面を想定しての指導や避難訓練を行い、「(自助・共助の視点に立って)自分の命は自分で守る」ことができる生徒の育成を目指していきたいと思えます。



民俗芸能指導

中3 → 小5・6

15日(水)5校時、中学生が小学生に地域に伝わる民俗芸能を指導しました。飛鳥祭(10/1)に向けて、班に分かれ、中学生が言葉を選び、工夫を加えながら指導していました。今後が楽しみです。

